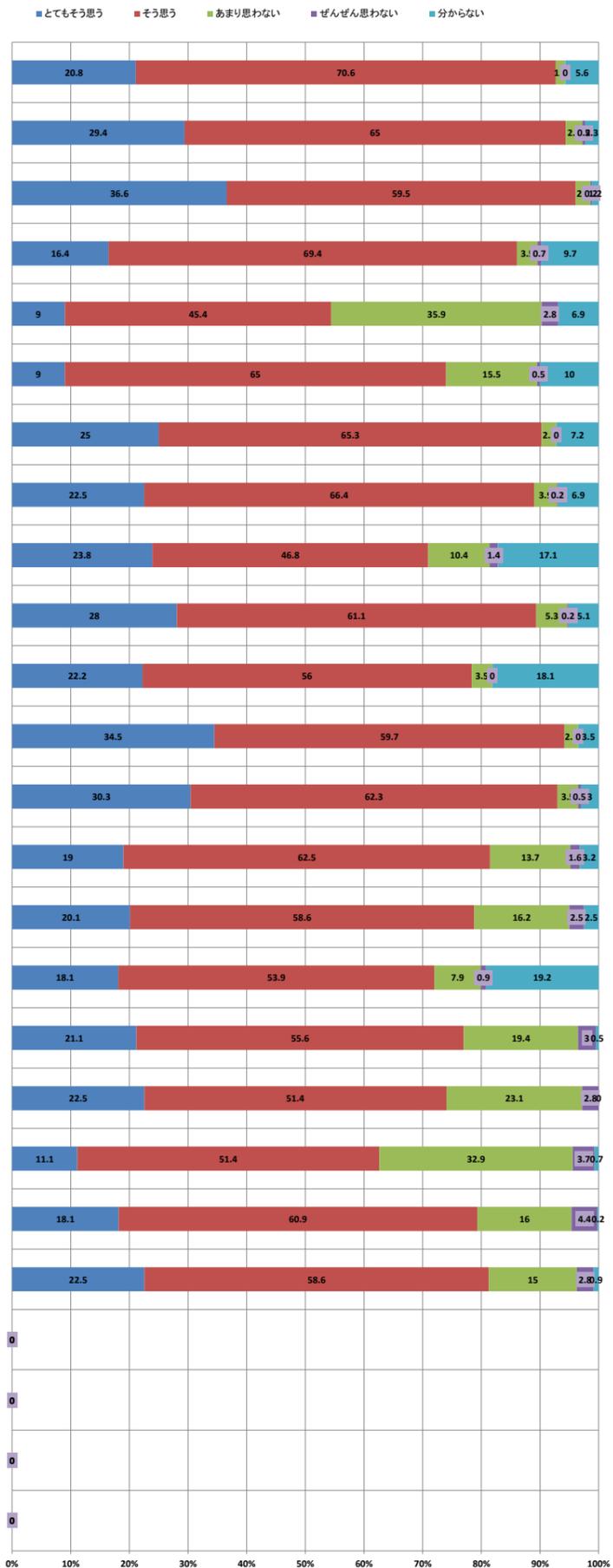


令和2年度 新宿区立四谷小学校 学校評価 保護者アンケート結果（後期）

質問項目	肯定的回答割合		
	R1後期	R2前期	今回
1 学校の教育目標・方針は子どもたちや地域の実態にあった適切な内容である。※知育・徳育・体育を重点とする教育目標や学年目標、指導の重点等	94.5	91.4	91.4
2 四谷小の子どもたちは仲よく生活しており、学校での様子は楽しそうである。	92.6	92.6	94.4
3 教職員は、誠実に子どもや保護者に接している。	94.8	94.4	96.1
4 学校では道徳や全ての教育活動を通じて命を大切にすることや思いやりの心を育む指導に努めている。	86.1	79.9	○85.8
5 四谷小の子どもたちはあいさつの習慣が身に付いている。	54.1	54	54.4
6 四谷小の子どもは思いやりの心や社会のルールを守る態度が身に付いている。	73.9	73.7	74
7 四谷小の先生は、分かりやすい授業を行っていると思う。	89.3	79.1	○90.3
8 四谷小の先生は、子供たちに基礎・基本の学力をつける指導に力を入れている。	89.8	84.1	○88.9
9 四谷小は、タブレットPCなどを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う。	88.8	58.6	○70.6
10 四谷小の感染症対策は十分に行われていたと思う。		88.5	89.1
11 コロナ禍の状況においても可能な限り、学校は災害の知識や身を守るための対処法などの自助の力や地域防災の協力・貢献する協力の力の育成につながる防災学習を行っている。		77	78.2
12 子どもにいじめやいじめの疑いがある時には、学校に相談することができる(しようと思う)。	87.3	91.9	94.2
13 学校の教室や施設は清掃が行き届き、安全で利用しやすく整備されている。	91.8	83.3	○92.6
14 学校は、日頃の教育活動の様子などについて、保護者会や学校だより、ホームページ等で分かりやすく伝えていていると思う。	81.8	78.6	81.5
15 学校は休業期間中進んで学習に取り組む機会を設けていたと思う。		73.2	○78.7
16 学校は、子どもが学校にかかわる地域の人(スマイルクラブの皆さん)と一緒に活動する機会をよくつづけていると思う。	90.3	69.6	72
17 自分のこどもは、家庭学習の習慣が身に付き、継続させることができている。	77.7	76.9	76.7
18 自分のこどもは「早寝、早起き、朝ごはん」がしっかりできている。	73.7	76.3	73.9
19 自分のこどもは、あいさつや場に応じた言葉づかいができている。	62.3	59.1	○62.5
20 自分は、学校の配布物を確認し、持ち物・提出物の点検を行わせている。	79.4	81.9	79
21 家庭で、子どものゲームをする時間、携帯・スマホを含むネット環境にルールを作っている。	84.4	78.7	81.1
22			
23			
24			
25			



1番・2番・3番は、継続して高い数値となっており、学校の取組を評価していただいていると受け止め、来年度も引き続き努力していく。  
 4番は、生活指導・道徳教育を通じて改善を図った結果、前期より約6ポイント上がっている。今後も家庭と連携を深めていく必要がある。  
 7番は、前期より約11ポイント。8番は、前期より約5ポイント。8番は、12ポイント上がっている。  
 →授業参観や保護者会を通じて理解をしていただいたと考える。コロナ禍でも児童の様子を伝えられるよう今後も努めていく。  
 10番は、継続して高い数値となっており、13番は前期より約10ポイント上がっている。10番と13番の内容が結び付いたと感じている。今後も感染症対策や環境整備に教職員全員で努めていく。  
 12番は、数値としての上昇は低いものの、年々よくなっているため、相談できる環境づくりを継続していく。  
 14番は、学年・専科などその他のページの更新期間を設定して定期的に更新し、学年便りで学年の活動の様子を伝えた結果、改善につながった。  
 昨年度から5番と19番の児童の挨拶と言葉遣いに関する項目の低い値が続いている。生活指導・道徳教育を通じて、改善を図っていく。  
 →挨拶の励行指導、朝の検温時の挨拶の繰り返しにより、気持ちのよい挨拶をできる児童が増えてきている(3月)。  
 6番は、数値の上昇が見られない。生活指導・道徳教育を通じて改善を図っていくとともに、家庭とも連携していく必要がある。  
 16番は、昨年度より前期・後期ともに約20ポイント下がっているが、約19%が「分からない」に回答している。  
 →教育活動も制約がある中で進めているため、活用する機会が大幅減となった。来年度は、活用できる機会を模索していく。  
 18番と20番は、前期より約2ポイント数値を下げている。今後も家庭と連携を深めていく必要がある。  
 10番、11番、15番は、コロナ禍におけるの新設項目となる。後期は、前期以上の数値となった。15番は、約5ポイント上がっている。  
 <自由記述の意見について：当該学年に関わるものは担任から回答させていただきます>  
 マスクの着用について→文部科学省のガイドラインに沿って、改めて指導をしたことで、現在(3月)は校内では全員が装着している。  
 学年だより月末1週前の配布について→月例なので配布のタイミングは変えられないが、翌月一週目まで予定を入れるようレイアウトを変える。  
 土曜授業について→今年度の土曜授業は、区で統一して1ヶ月2回程度の実施となっている。来年度については、感染状況次第ではあるが、一昨年並の回数に戻る予定である。  
 給食当番のマスクについて→PTAの寄付協力を得て、安全に配慮された配膳ができている。  
 学校からの手紙のWEB配信・ペーパーレスについて→必要最小限のことは一斉メールを活用するが、受け取る環境の整っていない家庭もあり、WEB配信に変更できる環境はまだ整っていないと考えている。  
 保護者会の日について→4月は既報の通り。その後については、感染状況により変更があることをご理解いただきたい。  
 休校時のオンライン授業に関しては、現在の環境では難しい。→4月よりGIGAスクール構想に基づくタブレットが全児童配布となる。この機器の通信環境等を確認し、オンライン授業その他の活用について今後検討していく。